２０２１年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　２０２２年４月11日
● 事　業　名　：　無職・非行等少年の職場体験・職場定着事業
● 資金分配団体　：　更生保護法人日本更生保護協会
● 実 行 団 体　：　認定特定非営利活動法人神奈川県就労支援事業者機構
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況
横浜市を中心とした非行等の問題行動がある少年が、職場体験支援を受ける。	職場体験支援（及び職場定着支援）の受け入れ企業の選別と、経営者との事前確認作業の実施	①25社(事業開始から) ②30社(事業開始から)	①2021年8月 ②2022年8月	①38社 ②41社	1
	職場体験支援マッチングを実施した少年数	① 5人（20年度着手） ②10人（21年度着手） ③10人（22年度着手）	①2021年3月 ②2022年3月 ③2023年3月	①　5人 ② 11人	2
	職場体験支援を受けた少年数	① 5人（20年度着手） ②25人（21年度着手） ③ 9人（22年度着手）	①2021年3月 ②2022年3月 ③2023年3月	① 7人（延べ件数） ② 9人（延べ件数）	3
横浜市を中心とした非行等の問題行動がある少年が、職場定着支援を受ける。	職場定着支援のマッチングを実施した少年数	① 5人（20年度着手） ②10人（21年度着手） ③10人（22年度着手）	①2021年3月 ②2022年3月 ③2023年3月	① 1人 ② 3人	3

	職場定着支援を受けた少年の数	① 3 人（20 年度着手） ② 7 人（21 年度着手） ③ 9 人（22 年度着手）	①2021 年 3 月 ②2022 年 3 月 ③2023 年 3 月	① 1 人 ② 2 人	3
支援要請機関の拡大拡充に向け、関係機関・団体と接触を続け、併せて広報活動も積極的に行う。	支援要請機関として協力が得られそうな団体のピックアップを進める。	① 4 団体 ②20 団体 ③ 5 団体	①2021 年 3 月 ②2022 年 3 月 ③2022 年 9 月	①14 団体 ②28 団体	1
	協力が得られ支援要請機関を訪問し、直接的な働き掛けを進める。	① 4 団体 ②10 団体	①2021 年 3 月 ②2022 年 3 月	①14 団体 ②13 団体	1
	保護観察所と情報交換会の開催	① 1 回 ② 1 回	①2022 年 3 月 ②2022 年 9 月	コロナ禍で中止	2
	横浜市保護司会協議会の協力を得て、支援要請機関との連携が円滑に進むよう図る。	① 1 回 ② 1 回	①2022 年 3 月 ②2022 年 9 月	①1 回 役員には面談で、その他の地区会長は文書で要請	2
	事業参加協力事業所と情報交換会の開催	① 1 回 ② 1 回	①2022 年 3 月 ②2022 年 9 月	① 1 回	2
	事業参加少年から再度の参加申込の受理件数	① 1 人 ② 2 人	①2022 年 3 月 ②2022 年 9 月	① 0 人	3
	ホームページの拡充	① 2 回更新する ② 1 回更新する	①2022 年 3 月 ②2022 年 9 月	① 1 回更新	2
	神奈川新聞社への協力要請	① 1 回の記事掲載 ② 1 回の記事掲載	①2022 年 3 月 ②2022 年 9 月	① 1 回	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし ☑短期アウトカムの内容 ☐短期アウトカムの表現 ☐短期アウトカムの指標 ☑アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
・2021 年 11 月、関係者を集めての意見交換会を実施した。依頼元の機関、そして体験等を受入れる事業主からは貴重な意見が得られ、本事業のアドバイザーから「体験等に職場が少年の居心地の良い職場になっている」「支援のタイミングも重要」という講評も得られている。 ・広報活動では、この半年間で、神奈川新聞、読売新聞、そして神奈川県社会福祉協議会の月刊誌に事業が掲載。 ・広報チラシも相当数配布したこともあり、この半年間では「チラシを見た」との問い合わせが続いています。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・依頼元や受入事業所から感染症対策の要望を聴取し、実践している。

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している ☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している ☐イベント実施時に表示している ☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）： 名刺、パソコン

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・JANPIA の取材： ・神奈川新聞：2021 年 9 月 4 日付け（PDF 新聞記事①） ・読売新聞：　2022 年 3 月 22 日付け（PDF 新聞記事②） ・神奈川県社会福祉協議会：月刊誌「福祉タイムズ」2021 年 11 月号（PDF）　16,000 部発行 2.広報制作物等 ・ホームページの更新（2021 年 10 月）　ＵＲＬ：http://www.shienshakikou.jp ・機関紙「ささえ」の発行：年 4 回・発行部数　各回 500 部 ・広報用ちらし：2021 年 11 月 500 部増刷（延べ 1,700 部発行） 3.報告書等 ・職場体験・職場定着事業についての評価報告書（早稲田大学教授藤野京子監修、2021 年 8 月 15 日発行）内部資料 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・無職・非行等少年の職場体験・職場定着事業の意見交換会 日時：2021 年 11 月 5 日　14:00～15:45　　会場：ロイヤルホームヨコハマ　　参加者：20 名

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：　委員会は設置していません。日本更生保護協会への報告もしていません。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない

→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：